

広報たしる

No.303

昭和53年12月

田代町総務課編集

1,600部発行



文化の日

文化協会主催の第二回文化祭が田代小学校で開かれ、本町の文化水準、意識というものを見ることができた。

昨年第一回の文化祭が開かれたとき、まずその参加者の数におどろかされたが今回も出場者が三百五十名を越え、内容も充実してきている。

しかし、その内容はまだ幼くこれからの努力と、新しい文化田代町に根づいた文化の開発がのぞまれる。が、初めほんの数人でともした文化の火が、今では四百人近くにもなっており、文化祭を開くまでになったことは特筆すべき点であり、その努力に拍手をおくりたい。

十二月の行事予定

- 11日(月) 教育委員会
- 12日(火) 民生委員会
- 15日(金) 定例議会
- 23日(土) 保育園遊戯会

12月1日から

道路交通法がかわります



行政処分

酒酔いは
免許取消し

麻薬や覚せい剤を飲んだの運転と、酒酔い運転は厳罰で、一度の違反で免許は取り消されます。
「麻薬、覚せい剤運転」は、この



免許取消し

暴走行為の禁止

ジグザグ運転
横列運転は
徴役六か月

暴走族に対する取り締まりが、一段と強化されました。
これまでは、自動二輪車が道路を横いっぱい広がって走っていても、センターラインを超えた場合は検挙できるものの、左側通行車線内では取り締まることができませんでした。

台以上の自動二輪車や車を横にねて運転したり、道路いっぱい広がってのジグザグ運転、走っている車を包み込んでのいやがらなど、共同して交通を妨害したり、他人に迷惑をかける行為した場合、全部の車を取り締まりの対象になります。罰則も厳しく懲役六月以下、罰金五万円以下違反点九点で無免許運転よりも行政処分を受けます。



運転免許制度

うっかり免許失効は
六か月まで
救済

免許証の切り替えを、ついうっかり忘れた...の「うっかりサン」への朗報です。
三年目ごとの誕生日前一月間が、運転免許証の切り替え日ですが、うっかりすると忘れてしまいがちです。

昨年一年間で、運転免許証の切り替えを忘れた人は、全国で三十四万人もいるのです。ただ、誕生日後三か月間は、適性検査を受け

総事業費四億円

川南地区新農業構造改善事業着工

農業は現在、米の生産過剰、外肉輸入等難しい問題をかかえて厳しい情勢にあり、このままでは、農家の意欲の減退、農村の荒廃も招きかねない現情にあります。

国はこのような現情を打破するため、すみやかに農業の体質改善と農業生産の安定確保をはかるため、本年度から新しく「新農業構造改善事業」を実施することになりました。

本町においても国の新しい施策に対応し、町の農業振興上最大の障害になっている農業生産基盤の整備を積極的に推進するため、この事業の実施を決め、猪鹿倉・鳥淵の両部落と話し合いを進めた結果、両部落の同意



が得られ、川南地区として、本年度から新農業構造改善事業を実施することになり、この程本年度事業は着工されました。

○新農業構造のねらい

新農業構造は従来の構造改善事業が全国一律の画一的な事業であったのに対して、地域主義をとりあげ、地域の実情、地域農家の意向を充分考えた事業を実施して、地域農業の再編と活力あるむらづくりをねらいとしています。

又事業は地域農家の話し合いにより、農地の適正利用、作物の栽培、農業機械の有効利用等を定めた「作物栽培協定」によって実施されることとなります。

○新農業構造の内容

新農業構造は、事業規模によって四種の事業がありますが、本町が実施する「地区再編農業構造改善事業」について説明します。

地区再編農業構造は、二、三集落を一地区とし、地区平均的補助事業三億円、単独融資事業一億円、計四億円の事業を三ヶ年で実施することとされています。主な補助事業の内容は次のとおりです。

りです。

1. 構造改善推進事業

協議会の開催費、作付栽培協定推進費、先進地視察費等

2. 土地基盤整備事業

農地造成、圃場整備、農道、かんがい排水施設整備

3. 農業近代化施設整備事業

農業機械、農業用施設整備

4. 集落環境整備事業

連絡道、集落センター、給水施設等

○川南地区の新農業構造

川南地区は新農業構造の実施に当り、「川南地区農業構造改善推進協議会」を設け、猪鹿倉・鳥淵両集落から会の運営に当る推進員、協力員を選任し新農構の基本となる作付栽培協定の作成各種事業の検討を重ね、総額四億円に上る計画を決定しました。

川南地区新農業構造の基本的な考え方は、次のとおりです。

地区の水田は急傾斜地の棚田で、農地の利用、農作業上の障害となっているので、水田の圃場整備を行い、農作業の機械化を進めて米づくりの労働時間を縮減し、余った労力を畜産の規模拡大と、新しい作物(やさい)の導入によって、農業所得を高めると共に、快適な生活環境を整備することによってい

このような考え方の本に、次のような事業計画が作成され、五三年度から五五年度まで、三年間に実施することになりました。

川南地区新農業構造事業計画

区分	事業区分	事業内容	総事業費	内53年度
補助事業	推進事業	協議会費、作付栽培協定推進	900万円	300万円
	土地基盤整備事業	圃場整備用水路	378.42億	262.00
	農業近代化施設	畜舎、農機具、ハウス等	34.00	7.80
	集落環境	連絡道、集落センター2、給水施設2	7.70	2.00
	調整予備枠		2.30	
小計			40.500	13.080
単独融資事業			4.800	

青年農業士育成事業

この事業は、農村青少年の研修教育等に励みと目標を与えるとともに、農業者としての意欲を高めるため、就農青年を対象として「青年農業士」の認定を行い、併せて、認定後の自主的

な組織活動を促進し、資質の向上及び連帯感の高揚を図ることにより、優れた農業後継者の育成確保に資するものとする。

(1) 事業の実施主体

事業の実施主体は県とする

(2) 事業の内容

この事業の内容は、次のとおりとする。

ア 青年農業士の認定

イ 青年農業士の研究会の開催
ウ 青年農業士による先進地等の調査活動の促進

(3) 青年農業士の認定等

ア 認定の要件

イ 青年農業士は、次のa b cの要件を満たすものとする。

a 本要領による講座制研修を修了した者又は、

農業教育施設の高専学校卒業課程以上の研修教育を修了し実務経験

一年以上を有する者

b 農業経営を実践し地域農業の推進者と見込まれる三十歳未満の者

c 農村青少年等の集団活動に積極的に参画し、

中心的活動ができることと見込まれる者

(イ) その他知事が必要と認める要件を満たす者



(校庭をうめた車の列)

教育だより
大原中学校
大原校区PTA研究公開
盛会のうち終わる！
田代町に九年に一回めぐって
くる県・郡のPTA研究公開が
本年度は、大原小中PTA合同
で、去る十一月十八日(土)、大原
小を会場に開かれ、多くの成果
を収めて終わりました。
当日は、鹿屋、垂水市、肝属
郡各域から約五百人の会員が百
三十台ほどの車で参会され、校
庭いっぱい駐車場からあふれ
るほどで、四つの実演会場、全
体会場とも室内にはいりきれず
外に立ちつくす人まで出るほど
で、近年に見られぬ程の盛況で
した。



学級集会



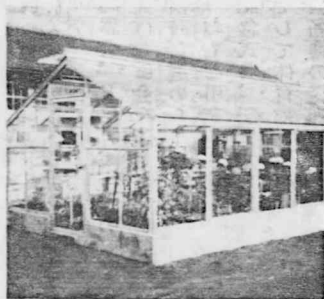
地域集会

小学校の学級集会(二年、六
年)小中合同の地域集会(西大
原、新田)とも、かねての活動
の成果を十二分に発揮した実演
公開で、好評でした。また、全
体会場ではPTA会員の出席率の
良さに参加者からの質問が集ま
るなど、活発な意見の交換もあ
り、県社会教育課長の篠崎先生
の指導講話でしめくって終わ
りました。大原校区の方々の教
育への熱意が高く評価された公

この程、アルミサッシ、総ガ
ラス張りのデラックスな温室が
理科室前にできあがりました。
何しろ冬季の冷えこみのきび
しい大原なので、今まで植物の
栽培管理に不便な面があったよ
うですが、今後はこれが大いに
活用され、生徒の教育面や、学
校緑化に役立つことと思います。

総ガラス張りの
温室できる

大原中



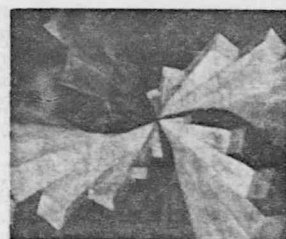
馴れぬ手で 隣を気にし
新茶摘む

「俳句」
もみじの葉 何がはずかし
赤くなる
一年 門田洋子

「短歌」
薄日うけ 菊の花びら鮮やかに
色冴えわたる 朝のひととき
三年 徳田雅行

「習字」
二年 安田昌子

「美術」
三年 大園章子



「立体感のある平面構成」
三年 大園章子



活躍が期待される
大原中剣道
スポーツ少年団

まだ発足して年月は浅いが、
顧問の久保先生を中心に毎日熱
心に練習に励んでいる。
現在一、二年生だけ九名の部
員だが、紅一点の木尾さんも男
子の中でがんばっている。
特に「礼節、信義」をモット
ーにして、技をみがぐだけでな
く、精神面や生活態度の練成に
力点をおいた指導が徹底してお
り、その成果がみられる。父兄
(山元利夫氏) 寄贈の団旗にも
礼節の二字が染め抜かれている。
なお、剣舞もとり入れており、
去る田代町文化祭でも発表され
好評を博した。現在まだ対外試
合では目立った成績はあげてい
ないが、今後の活躍が期待され
ています。

火災予防に
心がけましょう

冬は、空気が乾燥する日が多
くまた各家庭でも暖房器具を使
用する機会が多いため、火の取
扱いには、かねてよりいっそう
注意しなければなりません。
ところが、ややもすると、年
末年始の忙しさにまぎれて「つ
いうっかり」と、注意を怠った
り、「だいじょうぶだろう」と
いう安易な気持ちで、火の仕末
をしなかつたりしがちです。
そこで今一度次のようなこと
を心がけ、火災を予防しましょ
う。

- ① 火災を出さないために
たばこの投げ捨てや、寝たば
こは絶対しないこと。
② こらや暖房器具などは、正
しく取扱うこと。
③ 外出や就寝のまえは必ず火の
元を確かめること。
消火器や水バケツなどを用意
する。

火事になったら

- ① 早く一九番で、場所、目標
状況を適確に知らせること。
避難について
① 体裁を気にして着替えたりし
ないで早く避難すること。

季節の話題

編み物あそび

「編み物で遊ぶ?」と首をひ
ねるのは大人だけです。子供た
ちは大いに楽しめます。ためし
に、一本のカギ針でくさりを編
んで、ひもを作ることだけでも
教えてみますと、その手はどき
一つで、子供はしばらくの間、
長い長いひも作りに熱中したあ
と、ほかの編み物にどんどん挑
戦していきます。

編み物が巧みにできる器用な
指の動きは、脳を刺激してすば
らしい知的活動を支えるものと
なるといわれています。俗に、
「手足を動かすと頭がよくなる
など」といわれるのは、こうした
ことからでしょう。手はどきの
段階で、男の子に「男だからこ
んなことをしたらおかしい」と
か「必要ない」などといわない
ことです。楽しむことに男も女
もありませんし、女の子の思い
もつかない編み物の傑作を男の
子ができる場合も少なくない
そうです。

それから完成品は、大人の目

朝食抜きでも太る

に出来ても、ゴミ扱いにせず
に、贈りものの包みにリボンが
わりにかけたり、髪に結んだり
人形のアクセサリに使ったり
実用に役立ててやることも大切
です。

国立栄養研究所健康増進部の

鈴木慎次郎部長は、力士たちの
食生活を調査したことがあるそ
うです。一日二食で、力士たち
は早朝からけいこをはじめます。
朝食は正午近く、ちゃんこ鍋を
囲んだ力士たちは、それはもう
大変な腹ペコです。横から鈴木
先生が「腹一杯食べるんでしょ
う」と聞いたら、みんなは「腹
一杯どころか口一杯たべます」
典型的な多食です。食事回数を
少なくして一度にたくさん食べ
ると、体脂肪がつきやすく、肥
満になりやすいということが証
明されています。
やせたい一心で、朝食抜きや
昼食抜きをやっている、身体
を動かさないで、一度に沢山食
べるのであれば、結果的にはや
せないのだそうです。適度な運
動をすればかなり多食をしても
ふとらないで均整のとれた肉体
が保てるといふことです。

昭和53年成人式

- 日時 1月3日 午後1時
- 場所 田代小学校体育館

人口のうごき

基本	人口
台帳	2,274
男	2,520
女	4,794
計	1,485
世	53年12月
	1日現在

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

第二回 田代町民文化祭

十一月三日文化の日、菊の香ただよう田代小学校体育館で、本町文化協会（昭和五十二年六月発足、会長南園忠男氏）の主催による第二回文化祭が実施された。

会場には、絵画、書道、工芸品、盆栽、生花、標本等はなやかに展示される中で、延べ三百五十人の人々によって、舞台発表が行われた。舞台発表では、民謡、合唱、合奏、剣舞、バンド演奏、三味線などにぎわい、展示の部、舞台発表の部共に田代の文化水準の高さを示すよう

に思われた。



民謡グループ「花笠音頭」

青少年健全育成 広報キャラバン隊来る

十一月は「青少年の夢と希望をはぐくむ運動月間」として、本町でも広報活動等行なっていますが、県の事業の一環としてキャラバン隊が県内を一周します。十一月十六日本町へも訪問がありました。役場前に到着したキャラバン隊は、知事のメッセージを渡し、シンボルマーク旗を町に贈呈していただきました。青少年の健全な育成は、県民の大きな願いです。青少年をとりまくすべての人々の運動として盛り上げたいものです。

新人バレー大会三位 田代分校女子バレー部

十一月八日、鹿屋市体育館で大隅地区高校新人バレー大会で十四チーム中第三位に入賞した。



メッセージを渡すキャラバン隊

創立三十周年を機に新たに出発

県立南大隅高校 田代分校

県立南大隅高等学校田代分校の創立三十周年記念式典が十一月十一日県教育委員会をはじめ、郡内各高等学校校長関係者、並びに町関係者、PTA、同窓会、生徒あわせて三百人が出席して同校体育館で挙行された。

まず、慰霊祭が行われ、校長神田二郎氏が亡師亡友十九柱の霊に追悼の言葉を述べ、つづいて実行委員長、生徒代表の献花で、亡師亡友の冥福を祈った。ひきつづき記念式典が行われ校長式辞のあと、実行委員長あいさつおよび経過報告があり、つづいて県教育委員会関係者多数の祝辞が、最後に生徒代表の謝辞が述べられ、敬肅な中に心のこもった式典が終了した。午後祝賀会が行われた。

省みると田代分校は、昭和二十三年根占高等学校田代教場として発足以来、二十九年には、田代村立田代高校として独立した。さらに昭和四十五年県立移管によって、県立南大隅高等学校田代分校となり今日に至っている。

今年度の創立三十周年記念における記念事業は、昭和五十二年十月から同校に事務局をおき、

同窓会、PTA、学校の三者で実行委員会を設立、事業内容の検討が進められてきた。おもな事業内容は、慰霊祭、記念式典、記念体育祭と文化祭そして体育館の綴装整備と同窓会名簿の発刊作業がすすめられている。

事業の経費は卒業生を中心に募金運動がなされ、全国各地から多額の募金が集まりそれぞれの事業経費に配分された。同窓会名簿の発送は十二月中旬の予定となっている。なお十二日は文化祭が行われ、演劇発表、作品展、バザーなど盛況であった。



田代分校30周年記念式典

第四回 町内婦人バレー

十一月十二日、田代小中両校の体育館で第四回田代町婦人バレーボール大会が開催された。今年は十二チームが集まり熱戦を展開、昨年に続いて大根田チームが優勝した。結果は次の通りです。

一回戦

大根田	2-10	西中郡
平石	2-10	東中郡
鶴戸野	2-10	中
麓住宅	2-10	池
西中郡	2-10	新
東中郡	2-10	東西大原
上原	2-11	鶴戸野
鶴園辺志切	2-11	麓住宅
大根田	2-10	新
平石	2-10	東西大原
上原	2-10	中
鶴園辺志切	2-11	池
大根田	2-11	平
上原	2-11	鶴園辺志切
大根田	2-10	上
原		

決勝

十二月は
歳末助けあい運動
年末年始防犯運動
の期間です。